

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	治山事業（小規模治山事業（治山施設機能向上））					
地区名	おおほらどうのまえ 大洞堂ノ前					
事業箇所	とよたしおおほらちやうどうのまえ 豊田市大洞町堂ノ前 地内					
事業のあらまし	当該地区では山腹斜面の荒廃が進んでおり、山地災害の危険性が高い。このため、地元からの要望と荒廃現況を勘案して、法枠工を実施した。					
事業目標	【達成（主要）目標】 荒廃山腹斜面を保全し、山地災害の未然防止を図る。 【副次目標】 —					
事業費	事業費		内訳			
	0. 1億円		■工事費 0. 1億円、□用補費		億円、□その他 億円	
事業期間	採択年度	2016年度	着工年度	2017年度	完成年度	2017年度
事業内容	法枠工363. 9m2					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】 治山施設が整備されたことにより、荒廃山腹が適切に保全され、山地災害の未然防止が図られている。 【達成状況に対する評価】 事業目標を達成しており適切である。				
	2) 副次目標の達成状況	【達成状況】 — 【達成状況に対する評価】 —				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	事業目標は達成されており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	事業目標は達成されており、今後の改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画・工法で施工しており、重大な問題も発生していないため、同種事業に反映すべき事項はない。					